

令和2年度指定管理者モニタリングシート（令和元年度実績）

1 施設等の概要					
施設名	東久留米市立生涯学習センター（愛称：まろにえホール）			所管課	教育部生涯学習課（内線3212）
指定管理者名	JN共同事業体（株式会社JTBコミュニケーションデザイン、野村不動産パートナーズ株式会社）			指定管理者所在地	東京都港区芝3-23-1
指定期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日	利用料金制の有無	有	他自治体での指定管理者実績	四東京市保谷こもれびホール、東大和市民会館、ハミングホール、北とびあ、すみだ生涯学習センター
施設の設置目的	市民の生涯学習の促進及び振興を図る。				
事業概要（サービスの概要、自主事業等）	施設の適正な維持管理・環境改善の実施 ホール事業（落語・クラシック音楽・ダンス等）を年10回程度開催。また、親子や子どものワークショップ、成人講座を多数開催している。				

※本施設は平成22年度より指定管理者制度を導入しており、当該事業者は平成22年度より本施設の指定管理者を実施している。

2 決算額及び利用状況											
市決算額	29年度	30年度	元年度	指定管理料 対前年度増減		指定管理料 過去3ヶ年の 平均決算額	利用人(件)数			利用人(件)数 対前年度比増減	
				30年度-29年度	元年度-30年度		29年度	30年度	元年度	30年度/29年度	元年度/30年度
指定管理料	83,139,000	82,594,000	84,093,000			83,275,333					
使用料	9,212,165	9,105,120	7,898,610	-545,000	1,499,000		133,563	136,242	117,337	102.0%	86.1%
成果配分金	902,009	2,122,304	2,512,870								

※指定管理料過去3ヶ年の平均決算額欄：指定管理者制度の導入から3年を経過していない場合は、指定管理者制度導入後からの平均決算額を記入。

※成果配分金は当該年度に記載（市の決算上は翌年度収入）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う休止期間：令和2年3月2日から3月31日まで（29日間）

3 モニタリング評価		
評価項目	評価の視点	評価
公平な使用の確保	＜公平性の確保＞使用許可は適切に行われたか、不適切な利用制限はなかったか	3
市民サービスの向上	＜事業等運営＞新たなサービスの提供等、具体的なサービスの向上を図っているか	3
	＜施設維持管理＞設備機能維持のための保守点検、清掃業務・光熱水費・備品管理等に遺漏はないか	4
	＜情報管理＞個人情報保護及び情報公開について十分配慮し、必要な措置を講じているか	3
	＜危機管理＞事故・災害等に対する綿密な危機管理体制が整っているか	3
	＜市民協働＞地域住民と一体化した取り組みがなされているか	4
	＜ノーマライゼーション＞障害者や高齢者等に配慮した運営をしているか	3
	＜モニタリング＞利用者の満足度を図る仕組みや事後評価がなされているか	4
経費の節減など効率的な運営	＜収支の改善等＞利用者の増、経費の削減などの収支状況改善に向けた取り組みをしつつも、利用者にとって適正な運営をしているか	3
	＜経費の妥当性＞管理運営経費は、その内訳も含め妥当であり、適正に執行されているか	3
	＜再委託業務＞再委託されている業務の範囲は適切か	3
	＜環境対策＞市の環境施策を理解し、省エネ省資源等、地球環境に配慮した管理運営がなされているか	3
安定的な施設サービスの継続的な提供	＜サービスの信頼度＞施設管理手法及び維持管理体制が明確になっており、安全、安定的な施設管理ができているか	4
	＜職員の専門性、配置体制＞職員の指導育成などが適正にされており、施設の管理及び事業の運営を行うにあたって十分な能力を有し、事業内容に適した職員が配置されているか	4
	＜労働条件＞職員に対し、労働法規等を遵守した適正な勤務体制か	3
	＜経営基盤＞指定管理者（母団体）は、公共サービス事業提供者にふさわしい理念・方針のもと、経営が安定しており、施設を継続的・安定的に管理できる能力を有しているか	3
施設の特長によるサービス提供 ※それぞれの施設における事業計画書等を参考に、評価の視点を設定する	＜生涯学習活動の充実＞学習活動の振興を図るために、関連情報の収集・提供、相談機会の提供を充実させているか	3
	＜サービスの向上と運営の効率化＞施設管理運営に対する利用者の満足度を調査・分析し、サービスの向上と運営の効率化を図っているか	4
	＜地域との連携の強化＞すべての市民を対象とした参加型事業を充実させるとともに、市内の公共施設・商業施設等との連携を強化しているか	4
	＜新たな利用者の開拓と利用率の向上＞ホールをはじめとする施設全体の利用率を増加させるとともに、登録団体数についても増加が図れているか	3
合計点数		67点/100点

※評価は、5（期待を大きく上回る）、4（期待以上）、3（期待通り）、2（期待をやや下回る）、1（期待を下回る）の5段階評価とし、3を標準とする。

4 評価点（現状と課題等を含む。）
<p>* 3の評価を踏まえ、記載してください。また、特に評価すべき点、改善が望まれる点、今後取り組むべき点も記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が実施するトイレ改修工事では、工事業者及び工事所管課の打ち合わせにも参加したり、現場に立ち会ったりしながら、工事が安全に進むように協力した。工事の利用者への影響を最小限するため調整を行い利用者への丁寧な説明をおこなった。結果、大きなトラブルや事故もなく施設運営をすることができている。 ・センター全館上げてのチャリティイベント「東日本大震災・熊本地震被災地復興支援イベント まろにえ祭り」は「防災～いざというときに備えよう～」をテーマに防災用品・災害医療救護キットの展示や東久留米消防署による煙体験をはじめ、防災防犯課、健康課、男女平等推進センター、社会福祉協議会、東久留米市商工会ほか、多くの市民団体、地域住民と連携して実施し、前年度より452人多い3,202人の参加があった。 ・500人収容のホールを利用したホール事業では、「川井郁子～名曲コンサート～」、「秋川雅史コンサート」など著名なクラシックアーティストによる公演のほか、人気落語家による落語などの良質で人気がある事業を展開できている。また、「みんなのクラシックコンサート（無料）」、「まろにえクリスマスコンサート（無料）」などの身近で気軽に楽しめる市民参加型の公演も実施している。 ・法定点検や小破工事は、利用者の要望や安全を考慮した修繕が実施されている。 ・感染症対策による休館は不可抗力によるものであるため、協議の結果、休館中の使用料等については、市が補償をすることとした。 ・指定管理者とは毎月1回定例会を行い、事業の方向性や施設管理の問題点の報告を受け、今後の方針について協議、調整を行っている。 ・半年に一回利用者懇談会を実施し、有識者、行政、施設利用者より事業運営、施設整備について課題・改善等の意見をいただき、運営の適正化、改善を図っている。 ・トイレ改修工事の入札が二度不調になったことにより、当初予定していた工期が後ろ倒しになり、結局年度末まで工事をする事となった。このため、利用者にとって年度を通じて施設を使用しにくい状態が長引いたことが利用者減の一因となった可能性がある。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響により2月下旬から施設のキャンセルの申し出があったことに加え、3月以降は感染症対策のため臨時休館となったことは利用者の減少に直接的に影響した。

令和2年度指定管理者モニタリングシート（令和元年度実績）

5 総合評価

公平な使用の確保		市民サービスの向上		経費節減など効率的な運営		安定的な施設サービスの継続的な提供		施設の実態によるサービス提供		A期待を大きく上回る B期待以上 C期待通り D期待をやや下回る E期待を下回る
・公平性の確保	C	・事業等運営 ・施設維持管理 ・危機(情報)管理対策 ・市民協働 など	B	・収支の改善等 ・経費の妥当性 ・再委託業務 ・環境対策 など	C	・サービスの信頼度 ・職員の専門性、配置体制 ・労働条件 ・経営基盤 など	B	・設定した評価の視点	B	

6 次年度以降に向けた方向性

*3及び4の記載内容を踏まえ、記載してください。また、特に評価すべき点、改善が望まれる点、今後取り組むべき点も記載してください。

- ・施設の認知度が施設の利用率に影響することから、「まろにえ通信」による紙媒体の認知活動に加え、SNSも活用し新たな手法による認知活動を推進していくことを期待したい。
- ・地域住民と連携したイベントや著名なアーティストによる良質なホールイベントは継続しつつ、利用者懇談会や利用者アンケートの結果による利用者のニーズを踏まえた改善を実施していくことを期待したい。
- ・新型コロナウイルスを想定し、感染症対策の状況に対応した施設運営を検討していく。また、厚生労働省から新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」が示されていることから、利用者にも感染症対策への協力を呼び掛けていくことを期待したい。
- ・令和3年度、令和4年度大規模改造工事を実施するため、工事による騒音等の発生や休館について市民、利用者へ丁寧に周知・説明をしていくことを期待したい。